

「アスコット×DX」公開によせて

不動産金融事業領域を含むグローバルな総合不動産サービスプロバイダーへの飛躍

当社は、これまでマンションデベロッパーとして事業を営んでまいりましたが、現在はオフィス・物流・シニアリビング・学生寮など「アセットタイプの拡大」に取り組んでおります。

また、従来の不動産開発モデルに加え、ファンド・アセットマネジメント事業の拡大、海外顧客をターゲットとした仲介事業の起ち上げへと「ビジネスモデルの多様化」に着手いたしました。

さらに「国際×金融」をキーに顧客基盤・事業領域の拡大と共に資金効率を高め、かつ可視化された経営を展開することを志向しております。

これら全てのテーマの実現にはデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が不可欠です。

「空間は、もっと人の力になれる。不動産で人生を豊かにする。」をクレド（Credo）※ とし、DXを最大限に活用することによって「グローバルな総合不動産サービスプロバイダー」への飛躍を目指します。

※クレド（Credo）：企業的全従業員が心がける信条や行動指針

DX戦略「アスコット×DX」

<https://www.ascotcorp.co.jp/upload/dx03.pdf>



代表取締役社長 中林 毅